平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名　株式会社 テーオーシー　　上場取引所　東
コード番号　8841　URL　http://www.toc.co.jp/toc/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大谷卓男
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事務管理部門担当　(氏名) 羽廣元和　TEL 03-3494-2111

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日　配当支払開始予定日　平成25年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,229	△2.4	2,849	△1.5	2,560	0.1	1,566	6.4
25年3月期第2四半期	10,483	0.8	2,893	0.2	2,558	1.3	1,471	59.2

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　4,082百万円　(223.7%)　25年3月期第2四半期　1,261百万円　(△45.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.77	―
25年3月期第2四半期	11.96	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	138,132	72,618	52.2	590.56
25年3月期	136,366	69,729	50.8	563.27

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　72,100百万円　25年3月期　69,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	4.50	―	4.50	9.00
26年3月期	―	4.50			
26年3月期(予想)			―	4.50	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	0.2	5,300	△6.6	4,700	△6.6	2,850	△5.4	23.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	136,879,352 株	25年3月期	136,879,352 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	14,791,563 株	25年3月期	13,943,208 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	122,669,760 株	25年3月期2Q	123,040,515 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間(平成25年４月１日～平成25年９月30日)における当社グループの主力事業であります不動産賃貸事業におきましては、都心部における新築・築浅の高機能オフィスビルに加え、利便性が高いオフィスビルに対する引き合いは強く、空室率の低下とともに賃料は上昇に転じております。一方で、それ以外のオフィスビルでは引き合いも低調で入居率、賃料水準とも足踏み状態が続いております。また、商業ビルにおきましては、顧客囲い込みによる値引き、サービス等など商業施設間の競争が激しく、一部高額品の販売が好調なものの厳しい事業環境が続いております。

このような状況下、当第２四半期連結累計期間における売上高は10,229百万円(前年同四半期比2.4%減)となり、経常利益は2,560百万円(前年同四半期比0.1%増)、四半期純利益は1,566百万円(前年同四半期比6.4%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

不動産事業におきましては、前期に一部リニューアルを実施した大崎ニューシティはほぼ満室稼働となり、全体の入居率も前期末に比べ改善しましたが賃料水準への影響は限定的で、当事業での売上高は8,205百万円(前年同四半期比2.6%減)となり、営業利益は2,675百万円(前年同四半期比4.4%減)となりました。

リネンサプライ及びランドリー事業におきましては、大口顧客先であるホテルが訪日外国人の増加等により宿泊需要が堅調に推移した結果、売上高は837百万円(前年同四半期比4.0%増)となり、営業利益は103百万円(前年同四半期比12.5%増)となりました。

その他におきましては、ビル管理関連サービス事業では、請負工事の受注が減少したため減収となりました。スポーツクラブ及び温浴施設事業では、スポーツクラブの会員数が順調に推移しているため増収増益となりました。この結果、その他での売上高は1,187百万円(前年同四半期比5.4%減)となり、営業利益64百万円(前年同四半期は12百万円の営業損失)となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,765百万円増加し138,132百万円となりました。主な増加は、投資有価証券が3,553百万円であり、主な減少は、有形固定資産が1,315百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,122百万円減少し65,514百万円となりました。主な増加は、短期借入金1,264百万円及び繰延税金負債(固定負債)1,363百万円であり、主な減少は、１年内返済予定の長期借入金を含めた長期借入金が3,271百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,888百万円増加し72,618百万円となりました。主な増加は、四半期純利益1,566百万円及びその他有価証券評価差額金2,472百万円であり、主な減少は、自己株式641百万円及び剰余金の配当553百万円であります。

自己資本比率は、前連結会計年度末の50.8%から当第２四半期連結会計期間末は52.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末おける現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前第２四半期連結会計期間末に比べ469百万円増加し7,454百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は3,515百万円(前年同四半期比46.5%増)となりました。

主な内訳は、増加要因として税金等調整前四半期純利益2,550百万円及び減価償却費1,638百万円の計上であります。また、前第２四半期連結累計期間との比較では1,115百万円多い資金の収入となりました。これは、主に預り保証金の増減額において、前第２四半期では772百万円減少しましたが、当第２四半期では90百万円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は136百万円(前年同四半期比55.7%減)となりました。

主な内訳は、増加要因として投資有価証券の売却による収入285百万円であり、減少要因として有形固定資産の取得による支出297百万円であります。また、前第２四半期連結累計期間との比較では171百万円少ない資金の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は3,488百万円(前年同四半期比25.1%増)となりました。

主な内訳は、増加要因として短期借入金の純増額が1,264百万円であり、減少要因は長期借入金の返済による支出3,271百万円、自己株式の取得による支出641百万円及び配当金の支払額550百万円であります。また、前第２四半期連結累計期間との比較では700百万円多い資金の支出になりました。これは、主に自己株式の取得による支出が640百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

不動産事業では、都心部を中心にオフィス需要が改善傾向にあり、賃料水準の底入れ感が高まってまいりました。今後、オフィスビルを中心とした賃貸マーケットは安定的に推移するものと思われ、当社グループにおける業績予想につきましては、現時点において平成25年５月14日発表の予想数値の変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,001	7,811
受取手形及び営業未収入金	1,324	996
商品及び製品	26	23
仕掛品	12	14
原材料及び貯蔵品	164	175
繰延税金資産	214	205
その他	406	279
貸倒引当金	△35	△32
流動資産合計	10,115	9,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,676	57,172
機械装置及び運搬具（純額）	117	124
土地	44,149	44,163
建設仮勘定	40	229
その他（純額）	214	196
有形固定資産合計	103,199	101,884
無形固定資産		
借地権	6,966	7,076
施設利用権	50	49
その他	35	23
無形固定資産合計	7,052	7,149
投資その他の資産		
投資有価証券	14,791	18,344
保険積立金	859	874
繰延税金資産	11	11
その他	336	394
投資その他の資産合計	15,999	19,624
固定資産合計	126,251	128,658
資産合計	136,366	138,132

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	88	60
短期借入金	14,141	15,405
1年内償還予定の社債	584	544
1年内返済予定の長期借入金	6,296	5,452
未払金	886	743
未払消費税等	55	131
未払法人税等	1,024	968
賞与引当金	89	94
その他	2,929	2,793
流動負債合計	26,096	26,194
固定負債		
社債	1,812	1,565
長期借入金	26,334	23,906
長期預り保証金	9,475	9,569
退職給付引当金	499	515
役員退職慰労引当金	292	302
環境対策引当金	58	59
資産除去債務	261	261
繰延税金負債	1,699	3,063
その他	106	77
固定負債合計	40,540	39,320
負債合計	66,636	65,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	10,082	10,082
利益剰余金	49,009	50,022
自己株式	△5,345	△5,986
株主資本合計	65,515	65,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,770	6,242
繰延ヘッジ損益	△38	△28
その他の包括利益累計額合計	3,731	6,213
少数株主持分	483	517
純資産合計	69,729	72,618
負債純資産合計	136,366	138,132

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	10,483	10,229
売上原価	6,557	6,445
売上総利益	3,926	3,783
販売費及び一般管理費	1,032	933
営業利益	2,893	2,849
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	93	98
持分法による投資利益	－	11
その他	67	61
営業外収益合計	164	174
営業外費用		
支払利息	463	405
持分法による投資損失	3	－
その他	32	58
営業外費用合計	499	463
経常利益	2,558	2,560
特別利益		
投資有価証券売却益	－	179
特別利益合計	－	179
特別損失		
固定資産除却損	9	2
投資有価証券売却損	－	187
解体撤去費用	120	－
特別損失合計	129	189
税金等調整前四半期純利益	2,428	2,550
法人税、住民税及び事業税	993	952
法人税等調整額	△62	△2
法人税等合計	931	950
少数株主損益調整前四半期純利益	1,497	1,600
少数株主利益	25	34
四半期純利益	1,471	1,566

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,497	1,600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△239	2,472
繰延ヘッジ損益	4	9
その他の包括利益合計	△235	2,482
四半期包括利益	1,261	4,082
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,235	4,048
少数株主に係る四半期包括利益	25	34

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,428	2,550
減価償却費	1,622	1,638
投資有価証券売却損益（△は益）	－	8
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4	△2
賞与引当金の増減額（△は減少）	6	4
退職給付引当金の増減額（△は減少）	25	15
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	9	9
環境対策引当金の増減額（△は減少）	0	0
受取利息及び受取配当金	△96	△102
支払利息	463	405
持分法による投資損益（△は益）	3	△11
固定資産除売却損益（△は益）	9	2
売上債権の増減額（△は増加）	△68	328
たな卸資産の増減額（△は増加）	△23	△10
仕入債務の増減額（△は減少）	△1	△27
預り保証金の増減額（△は減少）	△772	90
未払消費税等の増減額（△は減少）	△89	75
その他	380	△149
小計	3,893	4,826
利息及び配当金の受取額	101	107
利息の支払額	△453	△411
法人税等の支払額	△1,140	△1,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,400	3,515
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25	△25
定期預金の払戻による収入	25	25
有形固定資産の取得による支出	△348	△297
無形固定資産の取得による支出	－	△110
投資有価証券の売却による収入	－	285
保険積立金の払戻による収入	51	25
保険積立金の積立による支出	△14	△39
その他	3	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△183	1,264
長期借入れによる収入	2,042	－
長期借入金の返済による支出	△3,817	△3,271
社債の償還による支出	△287	△287
自己株式の取得による支出	△0	△641
配当金の支払額	△550	△550
その他	9	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,788	△3,488
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△696	△109
現金及び現金同等物の期首残高	7,681	7,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,985	7,454

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	不動産事業	リネンサプライ及びランドリー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,423	805	9,229	1,254	10,483	―	10,483
セグメント間の内部売上高又は振替高	480	26	506	63	570	△570	―
計	8,904	831	9,736	1,317	11,053	△570	10,483
セグメント利益又は損失(△)	2,799	91	2,891	△12	2,878	14	2,893

(注)１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製薬事業、スポーツクラブ及び温浴施設事業等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失(△)の調整額14百万円には、セグメント間取引消去11百万円、減価償却の調整額3百万円が含まれております。

３　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	不動産事業	リネンサプライ及びランドリー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,205	837	9,042	1,187	10,229	―	10,229
セグメント間の内部売上高又は振替高	474	24	499	60	559	△559	―
計	8,679	861	9,541	1,247	10,788	△559	10,229
セグメント利益	2,675	103	2,778	64	2,843	6	2,849

(注)１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製薬事業、スポーツクラブ及び温浴施設事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額6百万円には、セグメント間取引消去3百万円、減価償却の調整額2百万円が含まれております。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。